

2018年
(平成三十年)

年頭あいさつ

東京都ダンススポーツ連盟
会長
居樹保朗



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい平成30年の新春を健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。

皆様には、日頃よりダンススポーツの発展と東京都ダンススポーツ連盟活動に特段のご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

また、平成29年7月九州北部豪雨により、被害に遭われた皆様および関係者様に心よりお見舞い申し上げます。現在も避難を余儀なくされている皆様及び復旧作業に対応されている皆様のご安全ならびに被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、多くのニュースがありました。ダンス界では日本ダンススポーツ連盟の40周年記念事業、東京都ダンススポーツ連盟では関東甲信越ブロック選手権並びに全国都道府県大会、ねりんピックの輝かしい成績。国内では眞子さま婚約、また、高校生棋士、「藤井聡太」棋士四段の連勝記録更新の快挙。世界ではトランプ大統領就任、ミサイル問題(北)など話題につきません。

近年の少子高齢化、核家族化などの進展を通じ、ダンス界を取り巻く環境は大きく変化をしてきております。ダンススポーツを取り巻く状況の変化を的確にとらえながら、会員の皆様の期待と信頼に応えるために、これまで以上に力量が

試される時代となっております。

今後とも、ダンススポーツ界が一体となり、メディアの力と、会員皆様が連盟の組織力を生かし、ダンススポーツの普及推進を図っていかねばならないと思っております。

単に新しい会員・選手を増やすという枠組を超えて、新しい発想で、革新的に且つ、これからどんどん皆でワクワクするような、新しいことに挑戦し、実行していきたいと考えています。

今、時代は大きく変化をしており、ダンススポーツも個性あるスポーツづくり、自主・自立の地域づくりが求められております。

そして、今年は2020年東京オリンピックに向けた国際競技力強化の要の年でもあります。ダンススポーツ振興の役割を果たすため、一層の努力をしてまいりたいと思っております。

今年は戊年です。戊年には勤勉な努力家という意味もありますので、知識を蓄えるにも最適です。会員皆様が知恵を出し合い、連盟の運営にご協力をお願い致します。

最後になりましたが、2018年も皆様が健やかで明るい年になられますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2017年 団体戦 3連覇

ねりんピック秋田2017(9月10日(日)秋田県立体育館)優勝に続いて、関東甲信越ブロック「都県対抗戦」(11月5日(日)栃木県立県南体育館)で両部門制覇での優勝、第25回都道府県対抗「全国ダンススポーツ大会」in 愛媛(11月12日(日)松山総合コミュニティーセンター体育館)はスタンダード・ラテンで準優勝、総合優勝と激戦を制しての素晴らしい活躍でした。



関東甲信越ブロック「都県対抗戦」

普段、私達は自分達のダンスを見てくれる人達を明るいきもちにすること、更には感動させることを目標に踊っています。しかし、今回は団体戦なので、勝つことを第一の目標にしました。そこで、勝つために何が重要かを改めて考え、その答えに沿って練習内容を変えらるとともに、勝つことが最優先であるという意識を念頭に練習しました。結果として、都の優勝に貢献できたことを心から嬉しく思います。また、このような大舞台で踊るチャンスを与えてくださった方々に感謝します。

(玉川慶・玉川美紗)



第25回 都道府県対抗「全国ダンススポーツ大会」in 愛媛

この度は、東京都代表として、パソドブレとジャイブの2種目に出場させていただき、ありがとうございます。初めて東京都代表として出場することや東京都の連覇がかかっていたことから、緊張していましたが、足を引っ張ることの無い様に、頑張りました。都道府県対抗全国ダンススポーツ大会、総合優勝という最高の結果を得ることが出来たこと、大変嬉しく思います。このような貴重な機会を共有させていただいたこと、東京都 DS 連盟を始め、チームの皆様方に感謝致します。

(大澤隆太郎・服部彩加)



ダンススポーツフェスティバル in 東京 2017



実行委員長
小林 克実

三笠宮杯前日に開催されるこの大会ですが、前日からの雨の為、開場時間を45分早くして8時15分から選手に入場して頂きました。今回の出場組数は316組エントリー数は428組でした。遠くは北海道、沖縄県から参加して頂き、小学生の高階・相川組(北海道)がC級ラテンで優勝、スタンダードは準優勝しました。東京都スポーツ文化事業団理事長杯(B級)はラテンで江原・原田組(協賛教室)、そしてスタンダードは吉川・吉川組(東京都DSC)が優勝し、賞状とトロフィーが授与されました。なお、東京体育館は、東京オリンピックの会場で使用する為に改装工事をするので、しばらく使用出来なくなります。

(公財) 東京都スポーツ文化事業団理事長杯



優勝 DSCJ B級戦 スタンダード

吉川 敏雄・吉川 明子 (東京都 DSC)

今回はダンススポーツフェスティバル in 東京 2017のB級戦で優勝できましたことを大変嬉しく思っています。数十年前に企業の社交ダンス部に入部して以来、途中でブランクもなく二人の子育てをしながら競技ダンスを続けてきました。娘が学連の試合に出場した年には応援をしながら一緒にダンスが出来る喜びを感じました。これからは年齢別のシニア戦に出場しながら生涯スポーツとして続けていきたいと思っています。ありがとうございました。



優勝 DSCJ B級戦 ラテン

江原 幸一・原田 清美 (協賛教室)

カップルを組んで5年になります。現在は、学連時代のスーパースターで憧れでもありました、元全日本チャンピオンの内堀晃太郎先生、祐子先生にご指導いただきながら、レッスンと練習に励んでいます。

今はラテン5種目を中心に行っていますが、スタンダード種目にも挑戦したいと考えています。これからも基礎・基本を大切に、自分たちの表現ができるように精進していきます。



スタンダード、ラテン両組それぞれ、全種目 1 位での完全優勝でした。



優勝 DSCJ C級戦 スタンダード

松尾 幸正
葛木 有紀
(東京都 DSC)



優勝 DSCJ C級戦 ラテン

高階 凌
相川 美玖
(北海道)



かがやいていますね

ダンススポーツフェスティバル in 東京 2017
D級ラテン優勝 山重 真記夫・千總 里実(港区)

今日はD級に挑戦し、なんとラテンでは優勝する事ができました!

我々は先生・仲間にも恵まれていて、レッスン・練習会・FM・パーティやダンスホール等、充実したダンスライフを送っています。先生の教え(床に立つ!軸!頭がブレない!)はまだ勉強中ですが...

競技会は周りや競うので怖いと思っていたんですが、参加者の方々は快く会話してくれたり、応援しあったり、とても暖かいですね。今後どこかで山重・千總組を見かけたら声を掛けてやってください!





こんちわ、ダンススポーツ

墨田区ダンススポーツ連盟も今年で27年目を迎えました。先輩の方々からお仕事を引き継ぎ、今に至っております。私たちの連盟は年2回の区民スポレクパーティと区民大会、区民体育祭この4本柱

が主な活動です。

その昔、墨田区には、伝統のあった、ダンスを楽しむ社交ダンス連盟と、我々競技主体のアマチュアダンス協会がありました。墨田区体育協会に加盟のときに一つの団体にまとめることとの指導があり、統一して体育協会に加盟しました。統一時、舞踏部と競技部で出発しましたが、舞踏部は高齢化に伴い廃部になりました。

墨田区はこの10年の間に東京スカイツリーが完成し、人の流れがずいぶん変わった感がいたします。その後、葛飾北斎博物館、刀剣博物館等も開館しました。両国国技館、江戸博もあります、なかなかメジャーな区にはなれません。隣に浅草を有する台東区が有るからでしょうか？皆様、是非下町の墨田区散策にお越しください。

ダンスを取り巻く環境は、近年著しく変わってきています。なんとか乗り切りたいと思っています。



墨田区ダンススポーツ連盟
会長 早川 文基



ダンスという

共通の素晴らしい趣味を
お持ちの皆様へ

平成29年10月8日の第37回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権に足を運んで、参戦、応援、または実行委員で東京体育館へ駆けつけられた方は、「ボールルームへようこそ」というアニメキャラクターのスタンディ、マネキンアリーナで見られたでしょうか。「青春を熱く踊れ」ということでTVアニメ化され、毎週録画をして楽しみにワクワクしながら見ているファンの一人です。当日、富士田多々良と花岡零役の声優が来場してくれたのもとても楽しいひと時でした。

東京都DSCとしては、少しでもダンススポーツ人口の増加に貢献していきたいと考え主要競技会である三笠宮杯、東京オープンなどに参画し、シャルウィダンスタイム企画運営・サポート、チケット販売に、協力しております。また、理事によるワンポイントアドバイス付練習会も折々開催しております。

そもそも私がダンスを始めたきっかけは、会社の上司の言った言葉でした。「世界のどこへ行っても楽しく通用すること『絵画がわかること』『映画を語れること』そして『ダンスが踊れること』なんじゃないか」と。ダンススポーツに挑戦して楽しい仲間が沢山できました。ダンススポーツに誇りをもって、よき趣味だといえます。



ダンススポーツへの情熱・熱心な気持ちで「ダンスの素晴らしさを広く知ってもらいたい」と思っています。そして、いつまでも青春を感じられたらいいなと思います。

東京都DSC
理事 柳堀 一美

次回96号の「加盟団体のひろば」は目黒区・立川市の担当です。



区市短信

狛江市

市民ダンスフェスティバル
— 中高生らによる
多彩なパフォーマンス —

狛江市民ダンスフェスティバルが11月23日に狛江市民総合体育館にて演技者200名に加え、300名を超える観覧者のご来場を頂き、盛大に行われました。

全国優勝等をしている狛江高校ダンス部や、世界大会優勝の狛江市第二中学校ダブルタッチの切れの良い、信じられない様な動きの素晴らしいパフォーマンスに加え、子供たちの新体操やジャズダンス、狛江市ダンススポーツ連盟の代表選手の演技等のショウタイムが行われ、第二部では楽しいダンスタイム等4時間以上のダンスフェスティバルでした。



(狛江市ダンススポーツ連盟
会長 永井 弘)

狛江高校ダンス部の演技

府中市

百寿のダンサー
— 健康の秘訣はダンス —

11月に100歳を迎えた府中市の一宮鈴子さんは、小池百合子東京都知事の自宅訪問を受け、敬老の日のお祝い状と記念品を戴きました。一宮さんは社交ダンス歴40年余で現在も市内の教室で週1回個人レッスンを受けています。7月には教室の先生と2年続けてデモを披露しました。「ダンスは健康によくとても楽しい」とのことです。

(府中市ダンススポーツ連盟
副会長 島田 和朋)



9月8日 小池東京都知事が
一宮さん宅を訪問

江東区

シニアⅣ A級戦スタンダード
(5種目戦) 開催
— シニア世代の団結を！ —

平成30年7月14日に「WDSF世界選手権シニアⅣスタンダード」大会が長野県で開催されます。江東区ダンス連盟では、3月4日開催の江東区ダンススポーツ大会(有明スポーツセンター)に於いて、シニアⅣ A級戦スタンダードを世界選手権の強化試合と位置づけ1回戦より5種目競技といたします。

世界の強豪選手を迎えるに当たり、本番前に十分な調整をし、日本のシニア世代は団結して底力を示しましょう。是非多くの皆様の参加を期待しております。

(江東区ダンススポーツ連盟
理事 田玉 仁)

2017年 公認指導員研修会(報告)

—救急救命講習の試み— 指導部長 竹本 勇

本年度、東京都では公認指導員研修会を7回、計570名の参加を得て、開催しました。本年最後の研修会(11月26日(日)、西東京市文化交流センター「きらっと」)にあたり、普通救命救急の講習を取り入れる事としました。

今年は、競技会やサークルレッスン中に残念では有りますが、救急事故が発生してしまいました。私たちダンス界も高齢化は避けて通れません。無いに越したことはない事では有りますが、私たちが救える命があり、少しでも救命率・予後の状況を高めるために必要な知識・技術です。日頃の指導現場で身近に感じておられる指導員の方が多く、人数制限をせざるを得ないほどの申込がありました。(このため参加できなかった方には大変申し訳ありませんでした。)

数名に分かれチームワークによる連携ブレイの講習は真剣そのものでした(写真)。来年度も取り入れて行きたいと思っておりますので、指導員に限らず一般会員の方も積極的な参加をお待ちしております。

(なお、本誌94号記事「縁の下の舞—救護—」もぜひご参照ください。)



2018年版競技関連規程 改訂の概要

競技部長 一ノ瀬 初男

1. DSCJ 競技規則が JDSF 競技規則に統合。
 2. DSCJ と言う文言を全て無くす。選手の移籍は受入れ先の同意のみで可能、現籍の移籍同意は不要(『会員の移籍に関する規程』参照)。
 3. ABC・シニア I 級は最終予選から所定の全種目で競技を実施。
 4. A 級の維持には最低1回は1次予選を通過すること。
 5. 単科戦の実施を廃止。
 6. C 級または D 級の同日2区分開催を各都道府県単位で2回までに制限。
 7. ガイドラインのタイムテーブル作成時の注意事項を「配慮する」から「原則とする」により表現を強める。
 8. ラテン女子の違反が散見されるパンティラインを具体的に写真で表現(『服装規定』)。
 9. 『本規則で使われる文言の解釈と重要表現』を各ページから集め・纏め・追加し全3項目から全11項目とする。
- 昇級基準と降級基準をページごとに纏め見易くする。
 - 各ページで関連する規程・規則・規定をある程度纏めた、その結果を新規と誤認しないよう注意。

東京都 ダンス交流会の ご案内

日時

3月3日(土) 18:15~20:30

会場

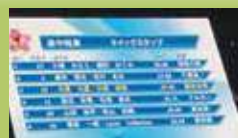
北区赤羽会館 4階大ホール

ミキシング、
デモンストレーション有り

普及部長 岡里 美恵子



進行表示



三笠宮杯ソロ演技
(新審判)の結果表示

DSF in 東京 2017 で



「縁の下の舞」も第4回、ご愛読ありがとうございます。さて、今回は「進行表示」です。

現在の競技、次の競技を表示して、競技会の進行状況を知らせる役割。「普段は選手の立場で活用させてもらっていますので、どこに配置すれば観客や選手から見えやすくなるかを工夫してみました。」(磯貝貴美子/小平市)

競技会によっては、大型スクリーンにヒート表(背番号)を掲出したり、新審判方式ではソロ演技の踊り順や、成績の途中経過も次々と開示されます。

手めくりや張り出し、そしてデータ化・方法は様々ですが、進行表示係はまさに倦まず弛まず、気を抜けない仕事になります。

JDSF 東京掲示板

平成30年

1/20 ⑤ 1/21 ⑤ 平成 29 年度研修・親睦旅行
場 所: 大島 (大島温泉ホテル)

2/4 ⑤ 第 66 回都民DS大会・
第 11 回プレジュニアDS大会
場 所: 立川・柴崎市民体育館

2/24 ⑤ 第 10 回ダンススポーツフェスティバル
in 東京オープン

2/25 ⑤ 第 20 回東京オープン・ダンススポーツ選手権
場 所: 東京体育館

3/3 ⑤ 東京都ダンス交流会
場 所: 北区赤羽会館

メディア・クリップ



- 10月 「波乱のドイツ大会…キンタロー。大躍進!」
TBSテレビ「金スマ」社交ダンス企画特集、10月6日放映。世界2戦目ジャーマン・オープンの健闘が紹介された。
「激しく 熱く 優雅に」 毎日新聞10月8日付23面に三笠宮杯(毎日新聞社特別後援)が全面カラー記事で掲載。15日、全結果も報道された。
- 11月 「週末は別人」 日刊工業新聞11月3日付に西村拓一氏(中央区)の「ダンスが高じて介護研究」と題するコラムが掲載された。
「世界選手権inマイアミ 日本人初…奇跡の快進撃!」 11月3日TBSテレビ「金スマ」2時間スペシャルが放映され、現地で中居正広氏らの応援を受ける中、アジア最高第7位の素晴らしい成績を残した。
- 12月 「『スクール革命!』にラテンチャンピオン出演」 日本テレビ12月3日放映された同番組に、三笠宮杯ラテン2連覇の藤井創太・吉川あみ組が出演、同姓同名のエピソードやジャイブなどを披露した。
「ジュニア日本一」 12月6日/13日NHK「ひるまほっと」に五月女光政・穀佳兄妹組(ブルボンDST)が出演。
「幼なじみがライバル。真っ赤な顔かつぎ!」 12月21日/28日TBSテレビ「スポーツが好きだ!」に藤井創太 JDSF 強化選手が2週に亘り出演。 <http://www.tbs.co.jp/sposuki/>

* 年末年始の記事は次号に!

発行 平成 30 年 1 月 1 日
発行人 小林 克実 (理事長)
編集長 山下 りえ子 (広報部長)
企画 広報部

発行所 東京都ダンススポーツ連盟
住 所 〒161-0031 東京都新宿区西落合1-28-14 榊原ビル1F
TEL 03 (6908) 3412 FAX 03 (6908) 3420
HP <http://tokyo-jdsf.org> (春夏秋冬掲載中)